

株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**

2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年11月21日

このプレゼンテーション資料には、2012年11月21日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。

決算の概要

第2四半期累計期間 連結業績(対期初予想比)



単位:百万円

	期初予想 (5/15開示)		13年3月期第2四半期累計		対期初予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	9,900	100.0	9,847	100.0	▲52	▲0.5
営業利益	2,000	20.2	2,216	22.5	216	10.8
経常利益	2,080	21.0	2,208	22.4	128	6.2
四半期純利益	1,180	11.9	1,202	12.2	22	1.9

第2四半期累計期間 連結業績(対前年同期比)



単位:百万円

	12年3月期第2四半期累計		13年3月期第2四半期累計		対前年同期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	11,104	100.0	9,847	100.0	▲1,257	▲11.3
売上総利益	4,783	43.1	4,188	42.5	▲595	▲12.5
営業利益	2,771	25.0	2,216	22.5	▲554	▲20.0
経常利益	2,925	26.3	2,208	22.4	▲716	▲24.5
四半期純利益	1,495	13.5	1,202	12.2	▲292	▲19.6
EPS (円)	48.98		39.39		▲9.59	▲19.6
設備投資額	710		393		▲316	▲44.6
減価償却費	455		506		51	11.2
研究開発費	625		547		▲78	▲12.5

※設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額

第2四半期累計期間 主要グループの業績

単位:百万円



	出資比率	売上高		四半期純利益	
		金額	増減比 (%)	金額	増減比 (%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	8,680	▲13.7	1,161	▲16.9
※1 ※4 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	1,494	▲9.0	※3 63	20.9
(株) ハーモニック・エイティ	100%	870	▲21.6	38	▲35.3
※2 ※4 ドイツ関連会社 ハーモニック・ドライブ・アーゲー	35%	3,140	▲17.1	350	▲54.6

増減比(%)は対前年同期増減率を表しております。

※1 平均為替レート 2011年1月～6月:1US\$ = 82.04円 2012年1月～6月:1US\$ = 79.74円

※2 平均為替レート 2011年1月～6月:1€ = 114.98円 2012年1月～6月:1€ = 103.45円

※3 米国子会社(連結)の四半期純利益は、少数株主利益控除後の数字です。

※4 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

第2四半期累計期間 単体業績



単位:百万円

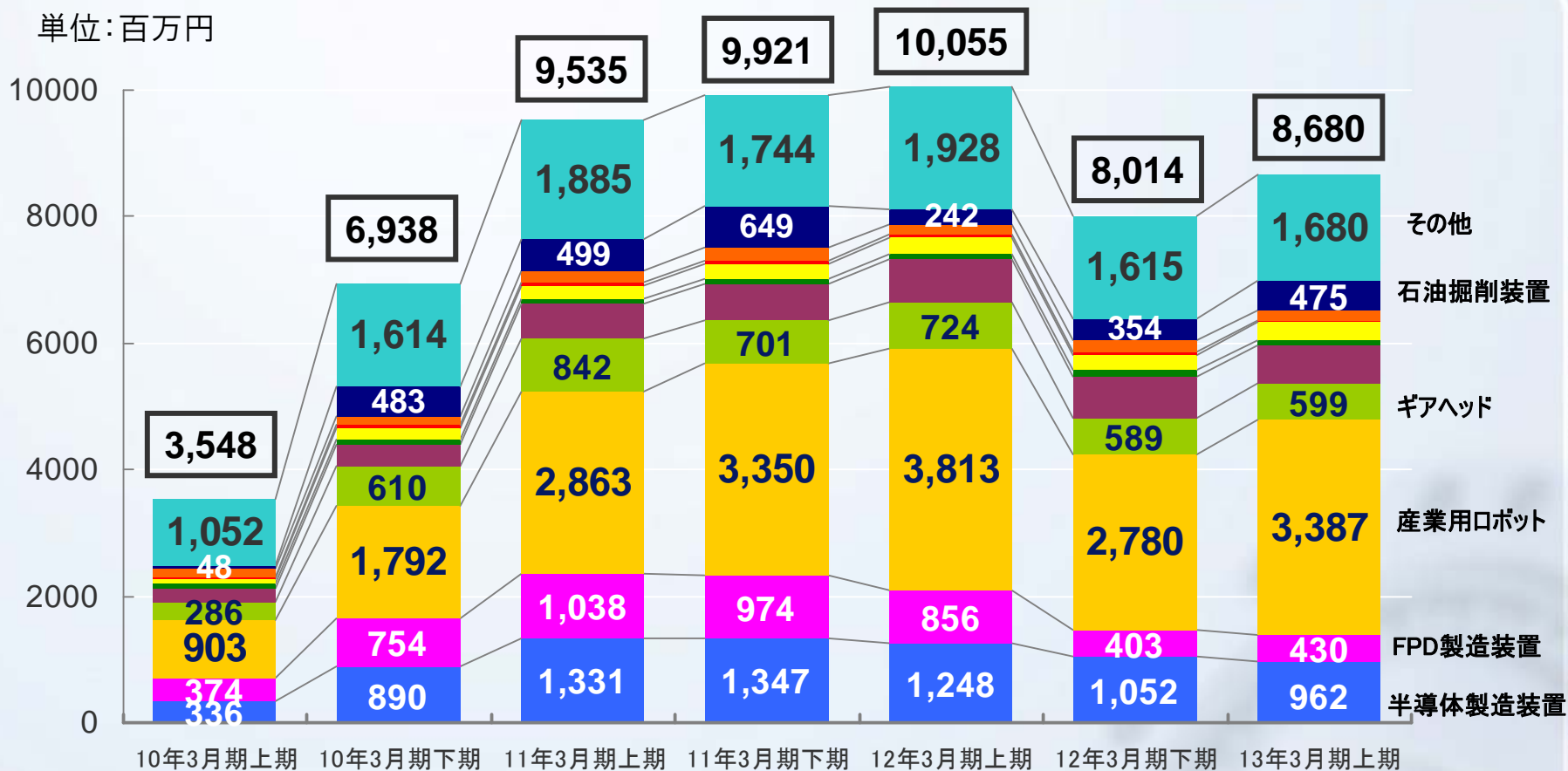
	12年3月期第2四半期累計		13年3月期第2四半期累計		対前年同期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	10,055	100.0	8,680	100.0	▲1,375	▲13.7
売上総利益	3,953	39.3	3,519	40.6	▲433	▲11.0
営業利益	2,266	22.5	1,816	20.9	▲450	▲19.9
経常利益	2,461	24.5	1,991	22.9	▲470	▲19.1
四半期純利益	1,397	13.9	1,161	13.4	▲235	▲16.9
EPS (円)	45.78		38.06		▲7.72	▲16.9
設備投資額	401		286		▲114	▲28.6
減価償却費	316		322		5	1.7
研究開発費	591		592		1	0.2

※設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額

用途別売上高(単体)



単位:百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーターメカ向ギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- その他

第2四半期累計期間単体営業利益 前第2四半期累計期間比の増減要因



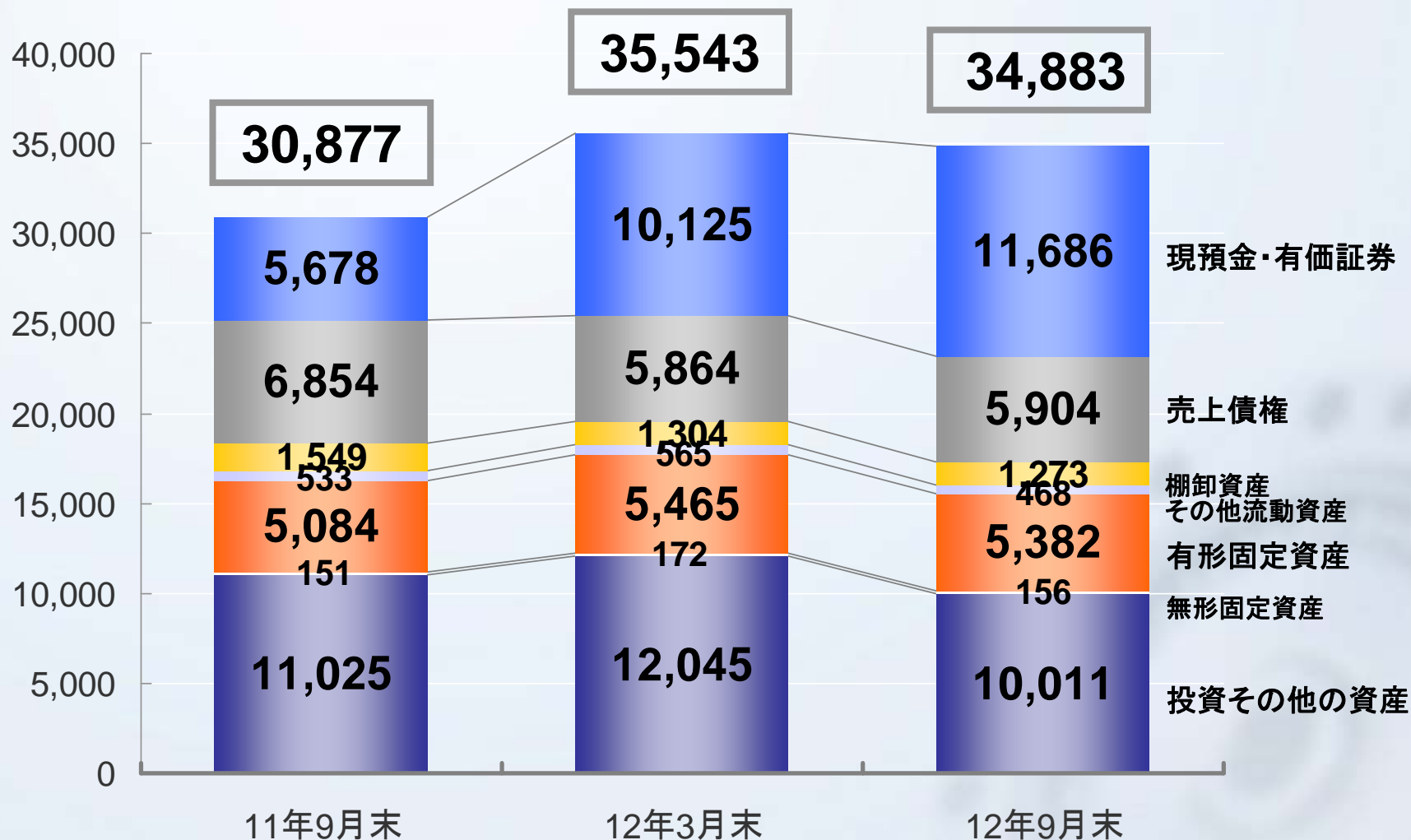
単位:百万円



連結資産の状況



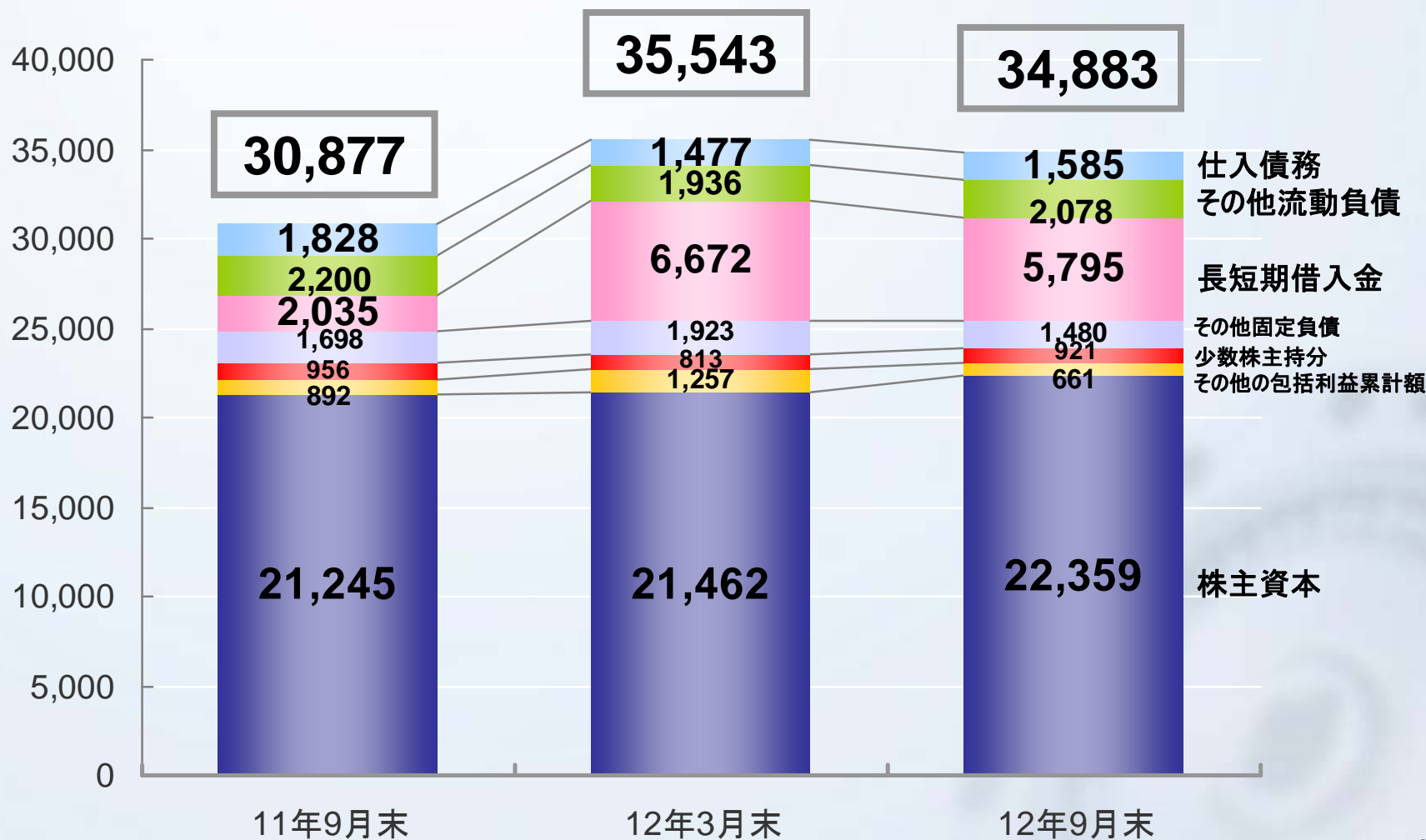
単位: 百万円



連結負債・純資産の状況



単位:百万円



連結キャッシュ・フローの状況



単位:百万円	12年3月期 第2四半期累計	13年3月期 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	310	2,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	130	2,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲772	▲1,224
換算差額	▲6	18
現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲337	4,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,013	8,353

A large, light blue oval with a gradient, surrounded by several thin, dark blue, overlapping elliptical lines that create a sense of motion or orbit.

今期業績の予想

通期 連結業績予想の修正



【対期初予想比】

単位:百万円

	期初予想 (5/15開示)		修正予想 (11/13開示)		対期初予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	20,400	100.0	18,500	100.0	▲1,900	▲9.3
営業利益	4,400	21.6	3,520	19.0	▲880	▲20.0
経常利益	4,500	22.1	3,530	19.1	▲970	▲21.6
当期純利益	2,600	12.7	1,980	10.7	▲620	▲23.8

2013年3月期 連結業績予想



単位：百万円

	12年3月期実績		13年3月期予想		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	20,159	100.0	18,500	100.0	▲1,659	▲8.2
営業利益	4,333	21.5	3,520	19.0	▲813	▲18.8
経常利益	4,398	21.8	3,530	19.1	▲868	▲19.7
当期純利益	2,139	10.6	1,980	10.7	▲159	▲7.5
EPS (円)	70.08		64.85		▲5.23	▲7.5
設備投資額	1,762		1,000		▲762	▲43.3
減価償却費	1,011		1,070		58	5.8
研究開発費	1,240		1,150		▲90	▲7.3

※設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額

※13年3月期予想の前提為替レート： 1US\$ = ¥79.00 1€ = ¥102.00

2013年3月期 主要グループ会社の業績予想



単位：百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	増減比 (%)	金額	増減比 (%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	16,500	▲8.7	1,950	▲11.9
※1 ※4 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	2,730	▲9.8	※3 100	▲34.4
(株) ハーモニック・エイディ	100%	1,700	▲16.2	50	▲26.6
※2 ※4 ドイツ関連会社 ハーモニック・ドライブ・アーゲー	35%	6,200	▲19.9	720	▲15.6

増減比(%)は対前年同期増減率を表しております。

※1 平均為替レート 2011年1月～12月(前期):1US\$ = 79.84円 2012年1月～12月(今期)予想:1US\$ = 79.00円

※2 平均為替レート 2011年1月～12月(前期):1€ = 111.12円 2012年1月～12月(今期)予想:1€ = 102.00円

※3 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の数字です。

※4 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

2013年3月期 単体業績予想



単位:百万円

	12年3月期実績		13年3月期予想		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減比 (%)
売上高	18,069	100.0	16,500	100.0	▲1,569	▲8.7
営業利益	3,576	19.8	3,050	18.5	▲526	▲14.7
経常利益	3,979	22.0	3,230	19.6	▲749	▲18.8
当期純利益	2,213	12.2	1,950	11.8	▲263	▲11.9
EPS (円)	72.49		63.87		▲8.62	▲11.9
設備投資額	1,139		800		▲339	▲29.8
減価償却費	713		700		▲13	▲2.0
研究開発費	1,219		1,220		0	0.1

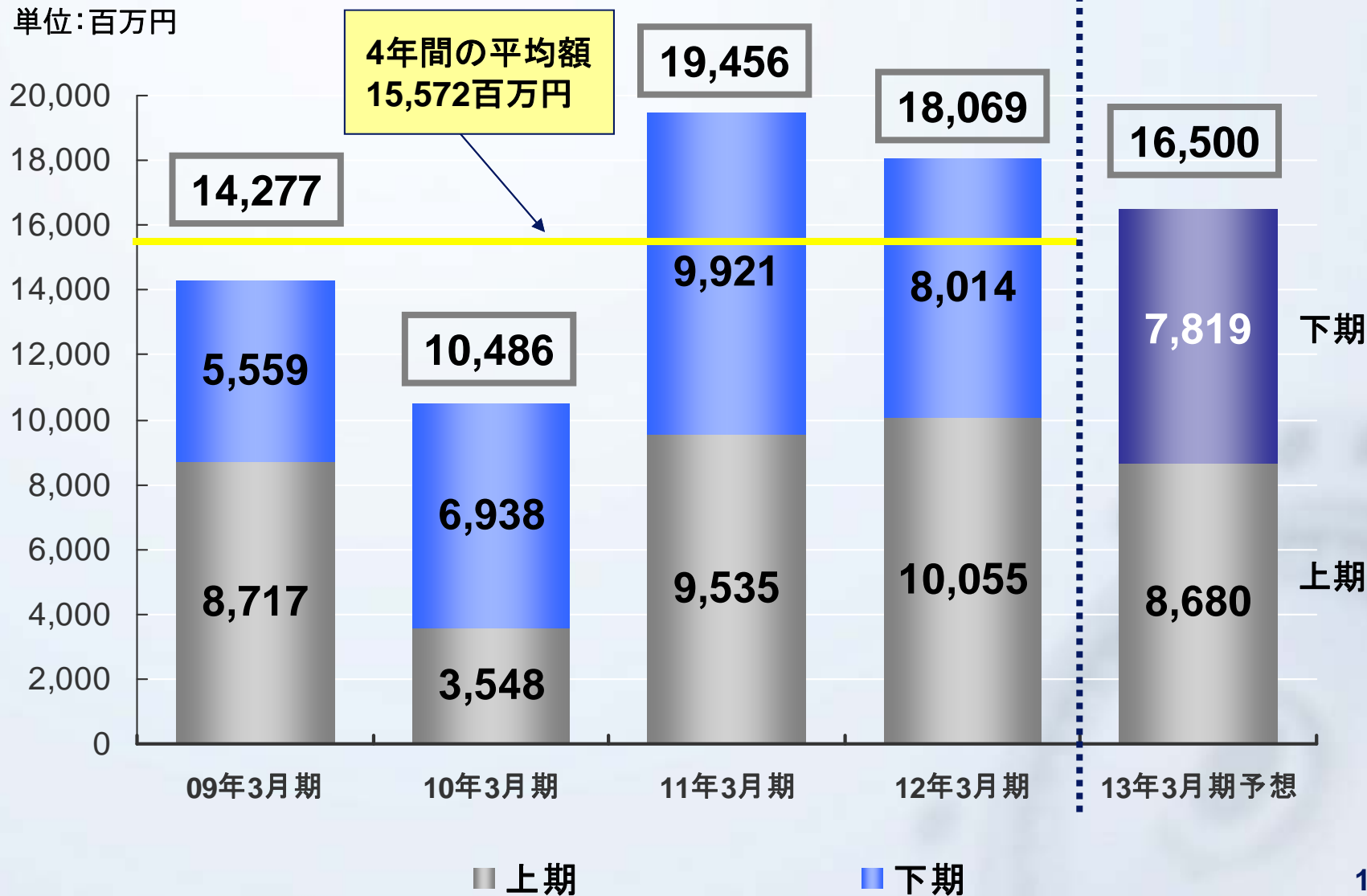
※設備投資額は、有形及び無形固定資産取得額

※13年3月期予想の前提為替レート: 1US\$ = ¥79.00 1€ = ¥102.00

売上高の推移(単体)



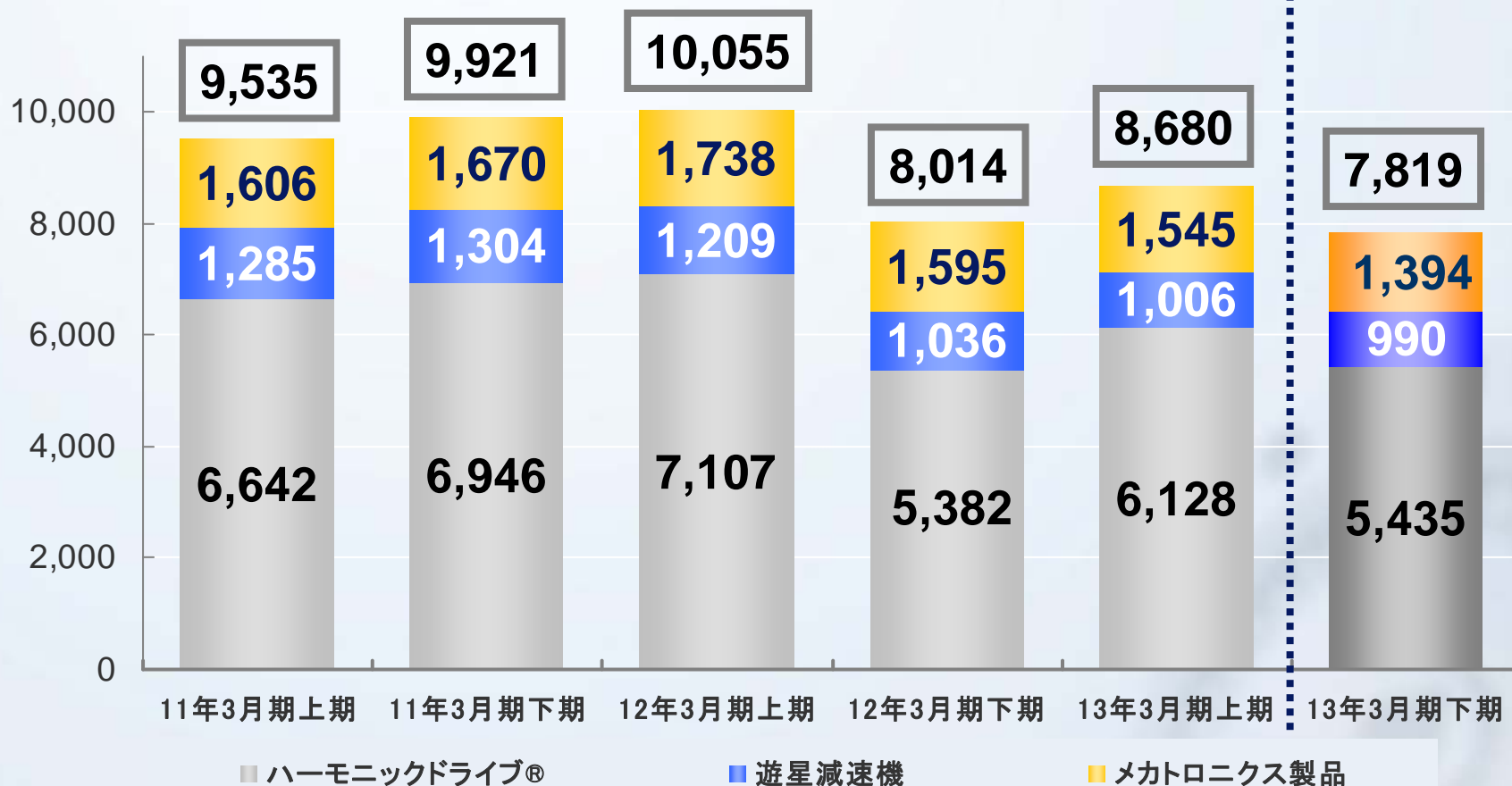
単位:百万円



製品群別売上高(単体)



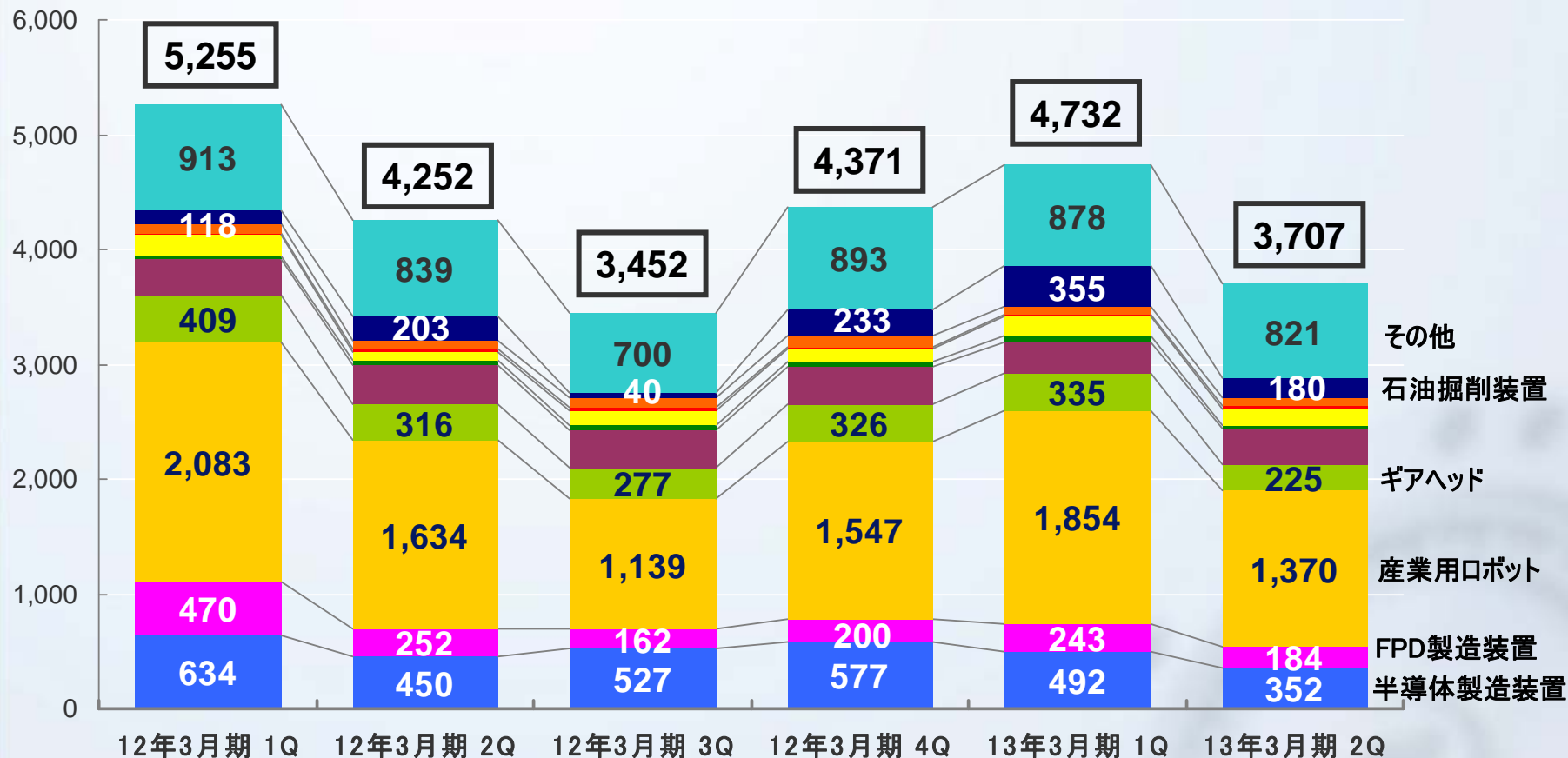
単位:百万円



用途別受注高(単体)【四半期】



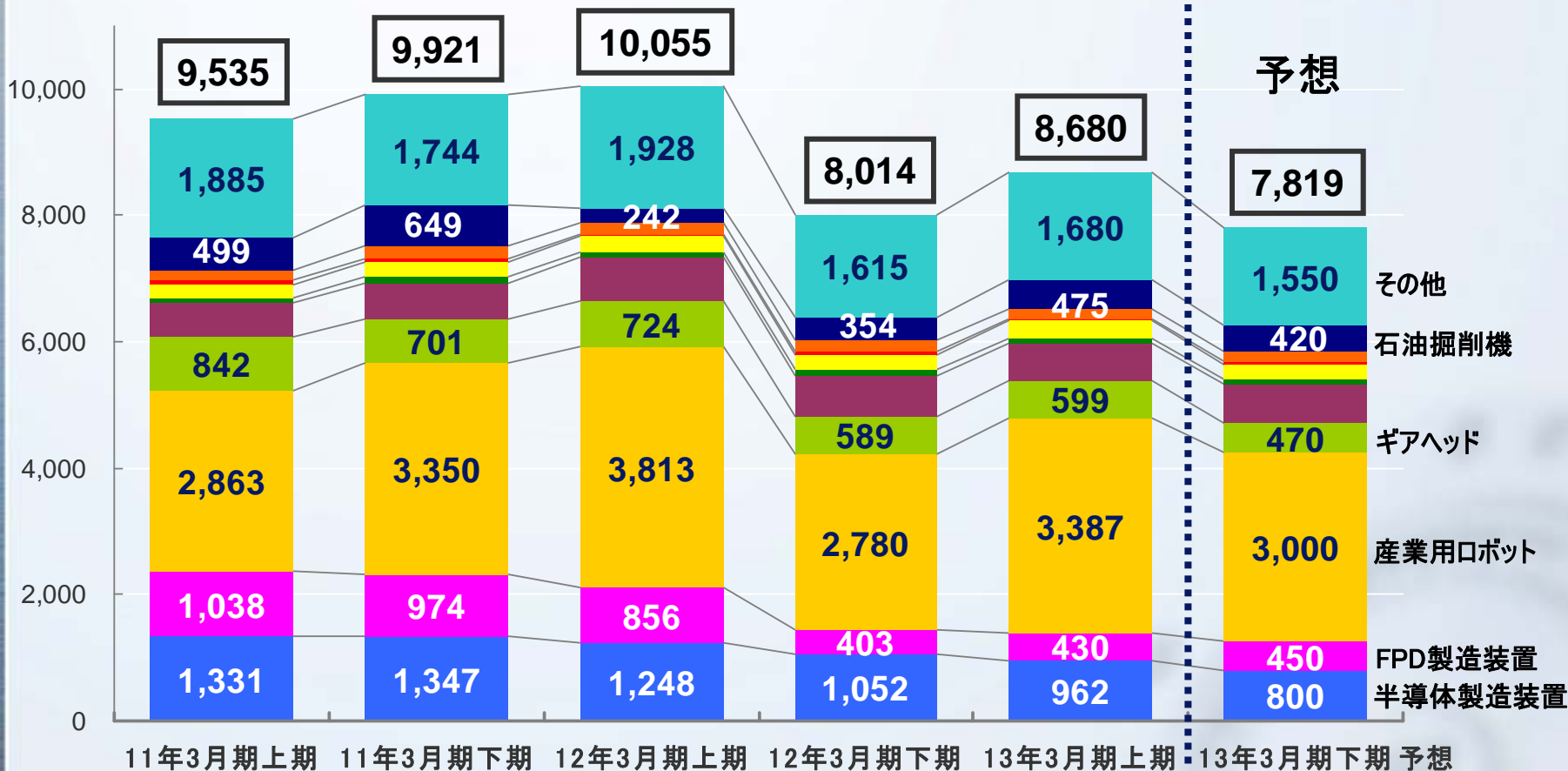
単位:百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーターメカ向ギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- その他

用途別売上高(単体)【下期予想の前提】

単位:百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーターメカ向ギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機器
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- その他

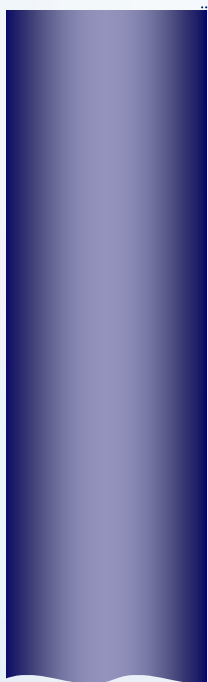
2013年3月期予想

単体営業利益 前期比増減要因



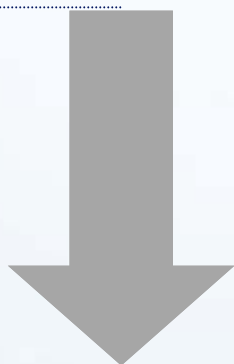
単位:百万円

3,576



12年3月期

減収の影響
▲ 848



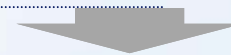
限界利益率等
の変化
+210



製造固定費
その他費用
の減少
+190



販管費の
増加
▲ 78



3,050



13年3月期予想

営業利益の推移(単体)



単位:百万円



営業利益

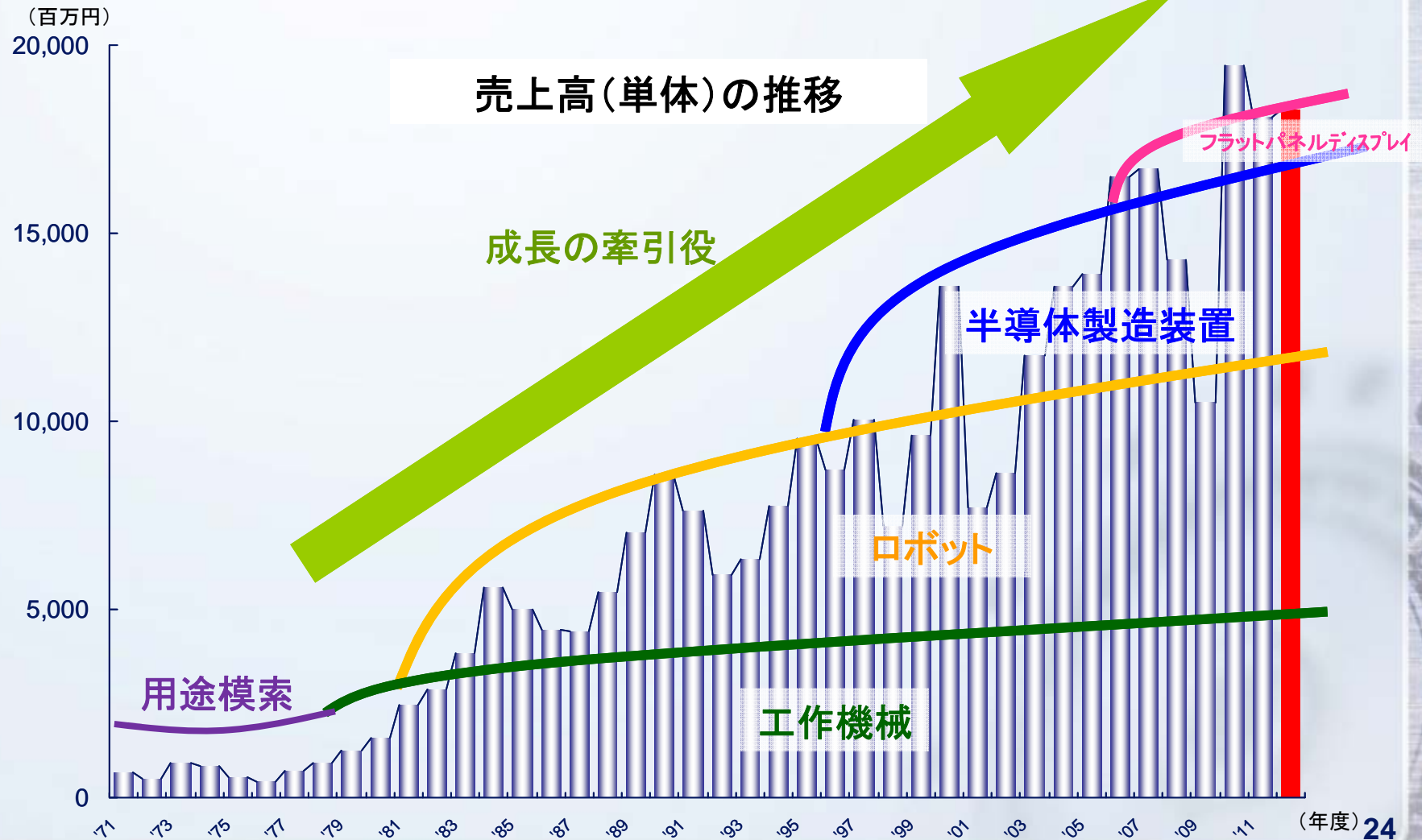
営業利益率(%)



今後の展望

短期的な需要サイクルの谷間

■新興国需要の息切れ、欧州問題の長期化



外部環境の中期展望

1. エレクトロニクス企業の競争激化と盛衰

2. 国内製造業基盤の脆弱化

3. 日本の国民性とモノづくり



当社の経営基盤

- 世界市場がターゲット
 - 模倣困難な技術と技能の蓄積
 - 短期的な需要変動に耐えうる強固な財務体質
- 故に、
当社事業の中期的な成長において、大きな障害となるものではない。

中期的な成長の鍵

1. 品質と安全を最優先した経営
2. コア技術の強化
3. 製品バリエーションの拡充
4. アジア地域への拡販強化

アジア地域への拡販強化

【中国】

販売子会社を中心とした
拡販(代理店も活用)

- 新製品拡販
- 技術サービス
- マーケティング

(重点市場)

- 産業用ロボット
- 工作機械
- 半導体製造装置

【シンガポール】

機械部品商社を活用した拡販

- 新製品拡販

(重点市場)

- 工作機
- FPD製造装置

【韓国】

技術力を持つ代理店を活用した拡販

- 新製品拡販
- カスタマイズ製品の受注

(重点市場)

- 工作機
- 半導体製造装置
- FPD製造装置

【台湾】

機械部品商社を活用した拡販

- 新製品拡販

(重点市場)

- 工作機
- FPD製造装置



製品バリエーションの強化

【減速機の基本性能向上】

より大きな出力を

より小さな重量で

より小さな容積で



より精度良く



【お客様の使い勝手向上】

周辺部品開発

すりあわせ技術



軸ごとに異なるニーズに対応できる製品バリエーション

軽量

高速

中空形状

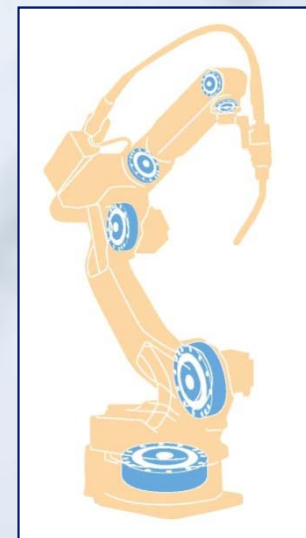
低振動

位置決め精度

偏平形状

高容量軸受

低騒音



【新製品】 軽量ハーモニックドライブ®



【軽量ハーモニックドライブ®】

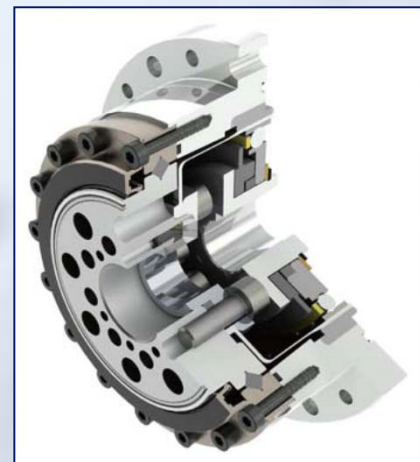
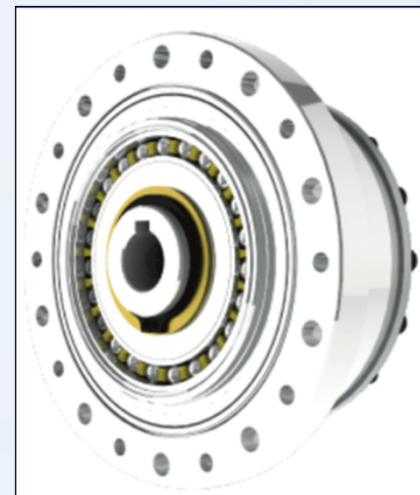
トルク容量を維持しながら、減速機の
20～30%軽量化に成功（当社従来製品比）

■メリット

- ロボットの軽量化（コンパクト化）による可搬重量アップ
- 軽量によるロボットのタクトタイムの短縮
- 軽量による省エネ

■対象市場

- 産業用ロボット
- サービスロボット
- 半導体製造装置
- 新用途・新市場



【新製品】 高トルク遊星減速機

【ハーモニックプラネタリ® HPGPシリーズ】

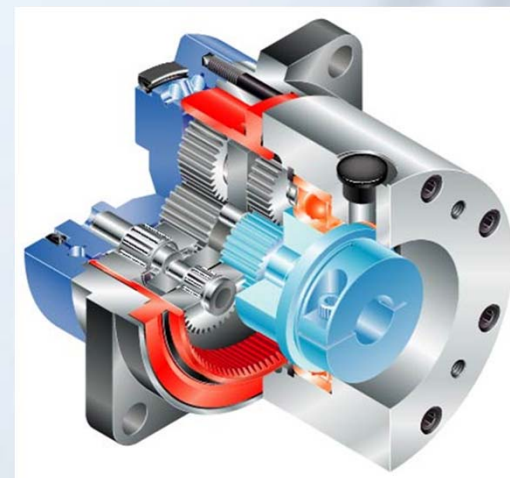
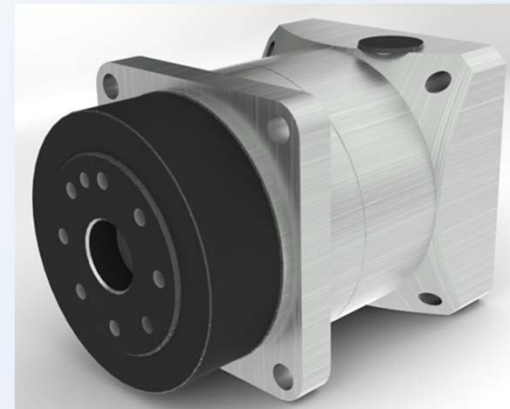
重量・外形寸法を維持ながら、
約33%トルクアップに成功
(当社従来製品比)

■メリット

- 装置のコンパクト化
- タクトタイムの短縮
- 寿命時間の向上
- 軽量による省エネ

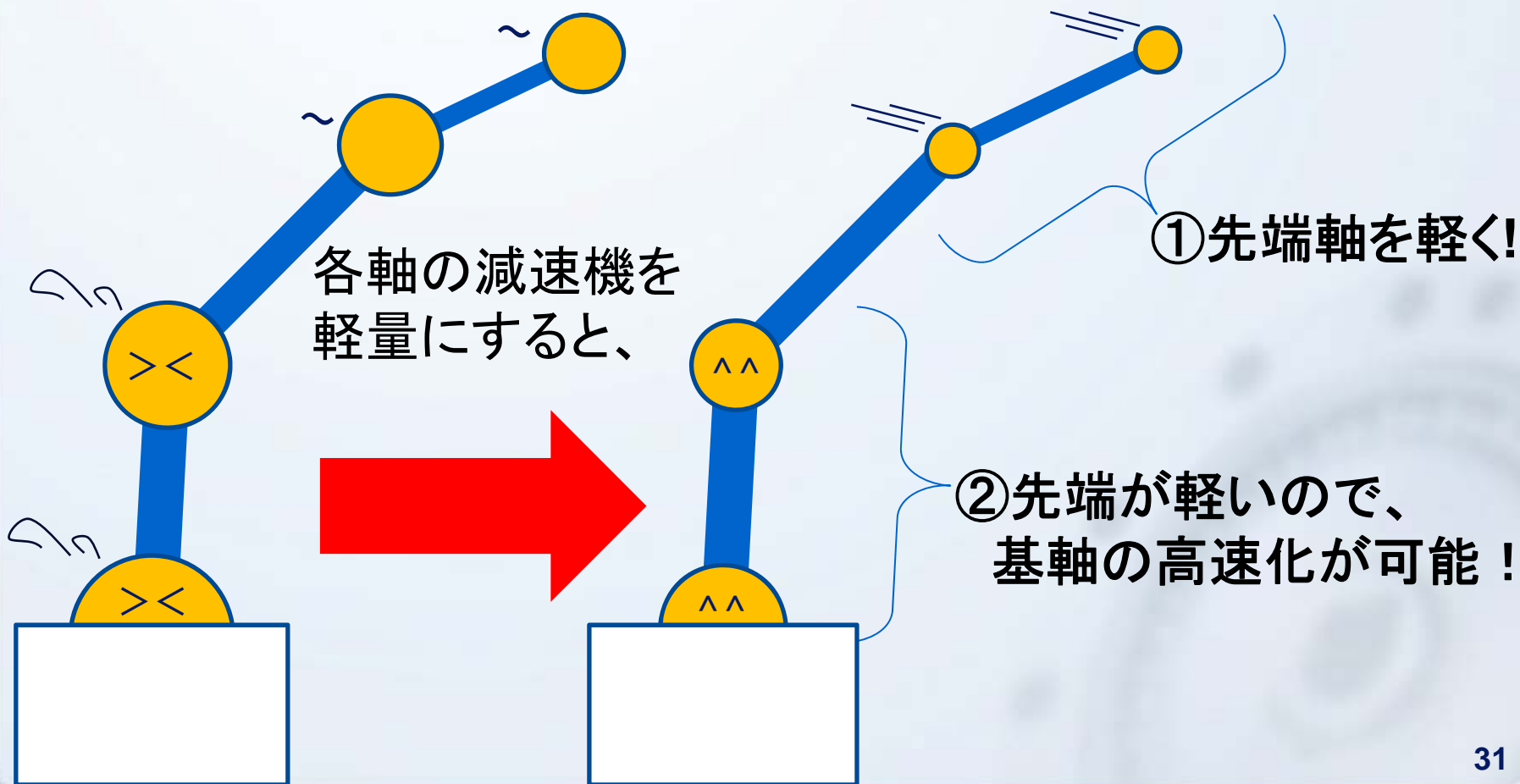
■対象市場

- 産業用ロボット(手首軸・走行軸)
- 半導体製造装置
- 工作機械



減速機の軽量化がもたらす利点

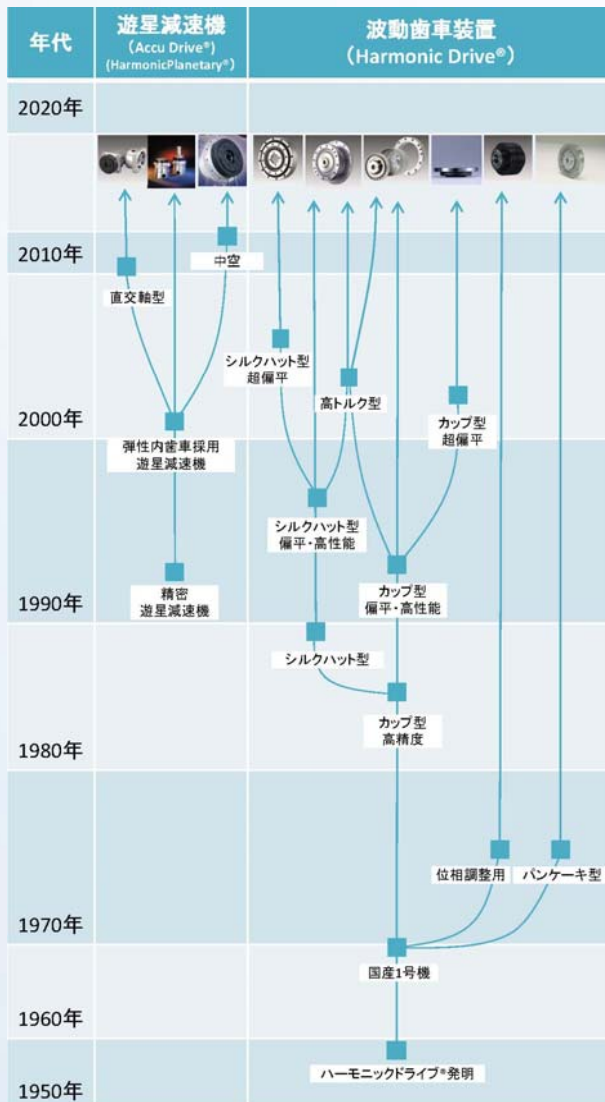
基軸側の減速機の**モータのダウンサイジング**や
ロボットの**高速化・可搬重量の増加**が可能！



技術・技能のスパイラルアップ



■ 当社の減速装置の歩み



地道な研究開発と技能の蓄積

基礎理論研究



材料開発

生産技術開発

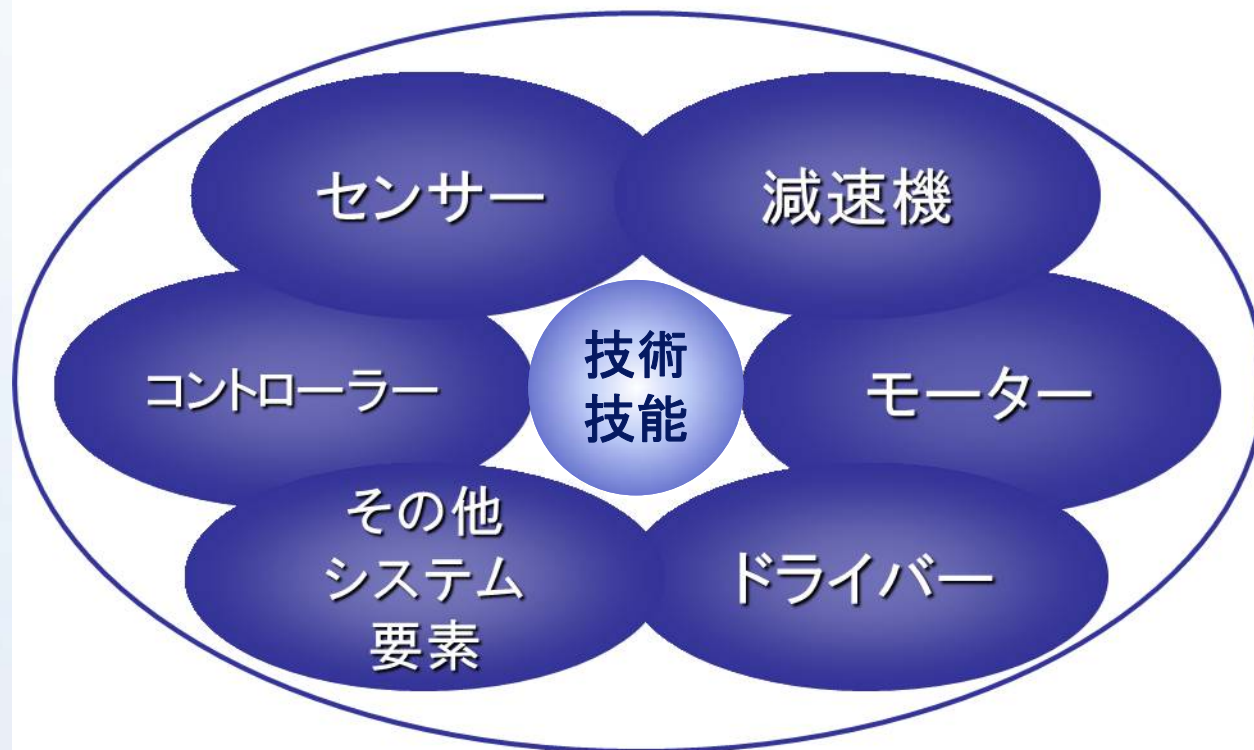
耐久試験

トータル・モーション・コントロール

当社の事業領域

▶ 精密制御分野における
「トータル・モーション・コントロール」という価値の提供

トータル・モーション・コントロールの概念図



株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**

FINE MECHANICS & TOTAL *Motion* CONTROL

本資料に記載されている業績目標等の数値は、いずれも当社グループが資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。